

読売日本交響楽団 会津若松公演

喜びの《ジュピター》

～モーツァルトを聴く至福の時～

2024年

7月26日(金)

18:30開演 (18:00開場)

《オール・モーツァルト・プログラム》

ディヴェルティメント K.136

ピアノ協奏曲 第23番 K.488

交響曲 第41番「ジュピター」K.551



ブゾーニ国際コンクールで3位。アメリカを拠点に研鑽を積む
郡山市生まれの若手のホープ

ピアノ: 山崎亮汰

ドイツを拠点に活躍する
期待の新鋭!

指揮: 熊倉 優

チケット(税込)

全席
指定

SS席5,000円

S席4,000円

A席3,000円

※大学生以下半額 ※当日500円増し
※未就学児童の入場・同伴はできません

前売券販売所

- 會津風雅堂(窓口、電話申込み、ホームページ)
- アピオスペース
- 栄町オサダ

4月20日(土)より前売開始

會津風雅堂



会場・お問い合わせ・電話申込み

會津風雅堂 TEL.0242-27-0900(月曜休館)

■電話申込みは4月21日(日)9:00より受付開始

■電話申込み受付時間 9:00~17:00

※電話申込みは宅急便の代金引換でご指定の場所にお届けします。
(手数料が別途かかります。福島県内500円)

※都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合がございます。

主催:公益財団法人会津若松文化振興財団、公益財団法人日本交響楽振興財団 共催:会津若松市教育委員会 後援:一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)、福島中央テレビ、福島民報社、福島民友新聞社



競輪の補助事業

この演奏会は、競輪の補助を受けて開催します。

<https://jka-cycle.jp>

喜びの《ジュピター》 ～モーツァルトを聴く至福の時～

読売日本交響楽団の約 21 年振りとなる会津若松公演。会津風雅堂の30周年を記念し、クラシック音楽史において最高傑作のひとつとされるモーツァルトの傑作「ジュピター」などを演奏します。指揮は、ドイツを拠点に活躍する新星・熊倉優。また前半には、昨年イタリアのブゾーニ国際コンクールで第3位に輝き、現在アメリカを拠点に研鑽を積んでいる郡山市生まれの若手のホープ山崎亮汰が登場。日本を代表するオーケストラと世界で注目を浴びる2人の若き才能が、渾身の演奏を繰り広げ、会場を大いに沸かすことでしょう。

今回披露するのは、「オール・モーツァルト・プログラム」。モーツァルトが16歳で作曲した爽快感にあふれた有名曲「ディヴェルティメントK.136」で開幕。続いて、木管の響きも印象的な古典派ピアノ協奏曲の逸品、第23番を山崎が瑞々しいタッチで弾きこなし、会場を至福のサウンドに包むことでしょう。メインはモーツァルト最後の交響曲、第41番「ジュピター」。熊倉のタクトが爽快感あふれる躍動的なリズムを生み、読響から壮麗で輝かしい響きを引き出します。優美さと喜びに満ちたモーツァルトの魅力に迫る一夜、どうぞご期待ください。



指揮：熊倉 優 Masaru Kumakura, Conductor

1992年東京生まれ。桐朋学園大学（作曲専攻）卒業及び同研究科修了。指揮を梅田俊明氏、下野竜也氏に師事。東京国際音楽コンクール〈指揮〉にて第3位、京都フランス音楽アカデミーにて最優秀賞（第1位）、ドナウ国際指揮者コンクールで第2位受賞。2016年から19年まで、N響首席指揮者パーヴォ・ヤルヴィのアシスタントを務める。国内の主要オーケストラを指揮するほか、欧州ではハンブルク・フィル、ハノーファー州立管などと共演。21年8月からハンブルク国立歌劇場にてケント・ナガノ音楽総監督のアシスタントを務め、ドイツに拠点を移して国際的に活動を続けている。23年8月からハノーファー州立歌劇場第2カペルマイスターに就任し、年間約30公演を指揮する。今回、読響と初共演。



ピアノ：山崎 亮汰 Ryota Yamazaki, Piano ☆ 郡山市出身の若手のホープ ☆

1998年福島県郡山市生まれ。2023年、難関とされるブゾーニ国際コンクールで第3位及びジュニア審査員賞を受賞し、一躍国際的な注目を浴びた。12年ジーナ・バックウアー国際ジュニアピアノコンクール日本人初優勝、13年福田靖子賞選考会福田靖子賞（第1位）、14年ピティナ・ピアノコンペティションにおいて史上最年少タイの15歳で特級グランプリ、併せて聴衆賞・文部科学大臣賞を受賞、16年クーパー国際コンクールで日本人初優勝、22年ケアロヒ国際コンクールで優勝など、輝かしい受賞歴を誇る。これまでに、クリーヴランド管、ボルツァーノ・トレント・ハイドン管、ハワイ響、東京シティ・フィル、日本フィルなどと共演。現在、米国ロサンゼルスのコルバーンスクールで研鑽を積んでいる。



管弦楽：読売日本交響楽団 Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

1962年、クラシック音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立。創立以来、世界的な指揮者、ソリストと共演を重ねている。2019年4月からS.ヴァイグレが第10代常任指揮者を務め、サントリーホールや事業提携を結ぶ東京芸術劇場などで充実した内容の演奏会を多数開催。17年にはサントリー音楽賞などを受賞。22年12月には文化庁芸術祭大賞を受賞。演奏会などの模様はBS日テレ「読響 粗品と絶品クラシック」などで放送されている。 <https://yomikyo.or.jp/>